

図書だより (3月号)

図書室に行くメリット

ここで図書室に行くメリットを紹介します。

主に3つメリットがあり、

1つ目は漫画や、ライトノベルなどのいろいろなジャンルが読めることです。

2つ目は希望図書により、自分が応募した本をよむことができます。

3つ目は自習スペースがあることです。勉強したいけど、教室では集中できないという方におすすめです

「5分後に衝撃のどんでん返し」
隙間時間にサクッと読めちゃう
5分後シリーズの一冊で、図書
委員おすすめです。ぜひ読んでく
ださい。



図書室に「ワークスペース」があるのをご存知ですか？



図書室には、気づきづらいですが勉強や作業ができるスペースがあります！間仕切りなどもありとてもリラックス出来る環境で作業することができます。図書室の奥の方にあるので、ぜひ来てみてください。

バケモノの熊徹は粗暴で無頓着で、ライバルの猪王山に“子供のよう”とも言われていて、とても九太の父親がわりにはなれそうになかったが、彼を取り巻く人々の支えもあり、子供は立派に成長していく...これこそが、『バケモノの子』で細田監督が最も描きたかったことでしょうか。もっと平たく言えば、現代では威厳のある父親が1人で子供を育てていくというのは難しい、けれど「父親がダメ人間でも、彼とその子供を支えてくれる友達がいれば良いのかもしれない」という新たな家族像を提示しているというわけです。



純喫茶「一服堂」の四季

鎌倉にひっそりと佇む喫茶店「一服堂」の美人店主・ヨリ子は極度の人見知り。

だが未解決事件の話を開けば、態度は豹変、客へ推理が甘いと毒舌のつるべ打ち。そして並外れた思考力で、密室内の「十字架」磔（はりつけ）死体など四つの殺人の謎に迫る。

愛すべきキャラクター、笑い、衝撃トリック満載の傑作短編集！結末を見たとき、目が覚めるほどの衝撃を味わえるだろう。



鏡の孤城

学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。鏡をくぐり抜けたその先にはころと似た境遇の7人が集められていた――

なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき驚きとともに大きな感動に包まれる。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。



Colorful 森 絵都

「おめでとうございます、抽選に当たりました！」
‘僕は’どうやら罪な魂らしい。本来ならばもう二度と生まれ変わることができないが、幸運にも抽選で当たり、再挑戦のチャンスを得たらしい。再挑戦とは、誰かの体を借りて、過ごすことだという。そこで「僕」は「小林真」という人物の体を借りる事になって..



絶海の孤島に招かれた赤の他人同士の10人の客が民話「小さな兵隊さん」の話の内容に合わせるように一人、また一人と謎の死を迎える連続殺人事件
次々と殺される理由や連続殺人事件を起こした犯人は……？

図書室に置いてあるので、ぜひ読んでみてください！